

幡鎌博**著

『[[改訂版] eビジネスの教科書』

(2008年、創成社)

評者：若林 一平*

変転するネット時代のビジネスの戦略・戦術を丁寧に解説するタイムリーな好著である

ネット環境が日々進化を遂げていることは誰も否定できないであろう。であるがゆえに誰しもその全体像を知りたい理解したいと思うことは自然なことである。とりわけ、ネット時代の新しいビジネス環境に敏感な若い世代の諸君からのニーズは高いであろう。著者は変転めまぐるしい新時代の大テーマに敢えて取り組んだのである。

初版は2006年、そして2年を経ないでこのほど改訂版を上梓した。著者のこうした真摯な取り組みが評価されて多くの大学で教科書として採用されていると聞く。

著者はコンピュータメーカーに10年にわたり勤務したあと経営システムの大学院へと進み学位を取得している。たいへんバランスのとれた経歴の持ち主である。現在はビジネスモデル特許を研究テーマとする気鋭の学徒である。

本書の構成は次のとおりである。

- 第1章 eビジネスの状況
- 第2章 B to C ビジネス
- 第3章 ネット広告とeマーケティング
- 第4章 B to B
- 第5章 eビジネス/eコマースでの物流・金融
- 第6章 クリック&モルタル, B to B to C
- 第7章 旅行業界のeビジネス/eコマース
- 第8章 eビジネス/eコマースに使われる技術

* 文教大学湘南総合研究所所長

** 文教大学情報学部准教授

第9章 ビジネス方法特許

第10章 イノベーションの視点から見たeビジネス

第1章から第6章まではさまざまな業種を横断して、eビジネスの全体状況の概説に始まり、企業による消費者向けのビジネス (B to C)、最先端のネット広告の世界、企業間取引 (B to B)、eビジネスを支えるモノとカネの動き、さらに実店舗とネット店舗との融合ビジネスへと展開する。

第7章では近年ネットでの売り上げを急速に伸ばしている旅行業界に焦点をあてて、eビジネスの全体像を論じている。都市型のホテルから地方の民宿まで、さらに海外のホテルの予約から決済まで、ネット利用の利便性を享受している人が増加している。

第8章は進化が著しいネットのテクノロジーの現状を説明している。加えて、テクノロジーの革新については第10章で総括的に論じている。第8章はテクノロジーを通してのネットの進化の構造を知る上でもたいへん興味深い。旧来のいわゆる研究開発とは全く異なるネットテクノロジーの諸相については、たとえば「経験空間の利用者への提供」を実現するイノベーションの展開がおもしろい。ネットが持つマーケット構造そのものを変革する起爆力を考えるとき、著者がイノベーションの問題を最終章にあてていくことがうなずける。

ネットに限らず、実は現代のビジネスの基盤を形成しているのは法体系である。グローバルスタンダードなるもののいかにわしきもそこにあるのだが。本書第9章はビジネス方法特許にあてられている。ビジネス方法特許は著者の専門研究領域であり、第9章はいわば本書の「売り」と言ってよいであろう。第9章は独立の専門書として拡張版が上梓されることを期待したい。

本書を教科書として高く評価するがゆえに、評者からの注文をひとつ。各章末に読者への取り組み課題を提示していただくと教科書としての魅力はさらにアップするであろう。とりわけ若い読者には、本書を通してeビジネスの現状についての知識を獲得するばかりでなく、eビジ

ネスそのものイノベーションに取り組んでほしいからである。

本書の著者の真摯な取り組みをおもうにつけて、現代日本において教科書への投資があまりにも貧弱ではないかとあらためて痛感した。洋書売り場を訪ねてみれば直ぐにわかることだが、海外では教科書への投資がしっかりと行われている。無論、組織をあげてである。われわれを

取り巻く環境においては、良書としての教科書の出版はまだまだ個人の犠牲において（のみ）行われている。教科書出版への大胆な投資あってこそ教育振興・文化振興である。あらゆる分野の学会、大学において教科書出版への取り組みが画期的に進むことを切に望むものである。